



# 「核兵器のない世界へ」学習講演会（12月15日）

長崎大学核兵器廃絶研究センター（RECNA）の中村桂子准教授を迎えての学習講演会は、NPT・世界大会に参加する人も含め32名の参加で、核兵器国や非核兵器国の動きなど核兵器をめぐる世界情勢を学びました。その中で、理論を学ぶこととともに体験することの大事さを強調され、1発ずつの広島・長崎に落とされた核兵器と、今、世界にある13880発の核兵器の数を実感する「音」をBB弾で表す実験をされました。参加者の感想では、ただの数字ではなくその数を体感すると、13880の恐ろしさは驚愕。1945年の年末までに亡くなられた方の数、21万人という数字もただの数字ではないことを改めて思った。NPT第6条が核兵器削減ではなく廃絶の合意であること、核の傘の下にいることの恐ろしさを感じた。自分にできることを考えるきっかけになった。ピースチャレンジャーになり署名を集める。原爆展などに取り組む。ミニ学習会などを開く。被爆者署名や核兵器禁止条約を周りに知らせる。NPT参加者とともに行動する。募金を集める。・・・等たくさんの行動の決意もありました。まずは知ることから、そして広げることへ！



## 被災地支援カレンダー贈呈行動 朝倉市・東峰村へ（12月26日）



朝倉市役所で林市長・梅田復興推進室長と懇談、カレンダー贈呈



昨年に続き九州北部豪雨被災の朝倉市・東峰村へ、皆さんから寄せられた被災地支援募金で「ちひろカレンダー」を届けました。参加は県労連、地元甘木朝倉原水協、新婦人、県原水協の5人で訪問しました。

懇談では被害がいかに甚大であったかも写真等で示されました。特に河川改修がまだまだ遅れており、農地復旧や自宅再建希望者への大きな壁もあること、復興住宅に移った被災者には新しいコミュニティ作りの支援など、引き続き行政の支援の必要があることも話されました。

県労連のメンバーである福建労が、仮設住宅建設をプレハブではなく木造住宅の建設に携わったことで居住者の方に喜ばれたことも紹介し、地元を活かすことの大事さを感じました。



東峰村役場で高橋副村長・眞田総務課長と懇談し、豪雨災害時の写真を示し惨状と今後を語る



昨年訪問時に「ヒバクシャ国際署名」への賛同を要請し、朝倉市長も東峰村の村長や議員も賛同してもらっていることへのお礼をのべ、県内60自治体中46自治体首長が賛同署名をしていることもお話ししました。

東峰村では、村あげて要求している日田彦山線復旧再開運動なども紹介いただき、県知事への署名用紙も預かってきました。今現在1万2千人分が集まっていること、村民は日田彦山線が地元住民の生活の足であること、通学に利用していた高校生が利用できなくなり進路も変更せざるを得なくなっていることに驚き、この路線の景観を愛している方たちのための「ふるさと」を返すことの大事さも感じました。JR九州が3877億円の経営安定基金を受けていながら、災害前には言っていなかった被災自治体へ毎年1.6億円の「赤字」解消を要求している理不尽さも、公共交通機関の使命を忘れ「カネ」に走る姿がどこかとダブって見えて、とても腹立たしい思いでした。

2年たってもまだ普通の暮らしに到達しない被災地のようすがよくわかり、3年目となるちひろカレンダーが、被災者の皆さんも、市長さんも大変気に入られていると聞いて嬉しい思いでした。

県労連の皆さんからの、使用を限定しない全国からの支援募金も、住民のために役立つものになってほしいものです。

## 2020年 NPT・世界大会in NYに向けて 新春署名行動、元気にスタートしよう！

6・9行動、成人の日行動、初詣の人などに訴える行動を！



### ＜九州・沖縄ブロック原水協学校＞

日時；1月25・26日 場所；大分市  
（詳しくは折込のチラシを御覧ください）  
お申込みはお早めに！

被爆65年

3・1ビキニデー集会を成功させよう！

**参加者募集中！**

（折込のチラシを御覧ください）